

2026 年 5 月 13 日作成 Ver.1.0

《情報公開文書》

食道癌術後患者の 6 分間歩行距離変化における Minimal Important Change の検証

研究の概要

【背景】

食道がんの手術は長時間に及ぶことが多く、手術後には体力が大きく低下し、その状態がしばらく続くことがあります。そのため、手術後に体力が手術前と比べてどの程度低下しているかを確認することが大切です。また、その結果に応じて、必要な方には重点的なリハビリテーションを行うことが求められます。体力を評価する方法の一つとして「6 分間歩行試験」という 6 分間で何 m 歩行できるかを測定する検査があり、これは世界的にも広く用いられています。しかし、この検査でどの程度の変化があれば、患者さんにとって「意味のある変化」と言えるのかは、まだ十分に明らかになっていません。

【目的】

本研究では、長崎大学病院で手術を受け、その後リハビリテーションを行った食道がん患者さんを対象として、手術の前後で 6 分間歩行距離がどのように変化するかを明らかにすることを目的としています。

【意義】

この研究により、どの程度の体力低下が「注意すべき変化」であるかが明らかになれば、より適切にリハビリテーションの必要性を判断できるようになります。

【方法】

本研究では、入院中にすでに行われた 6 分間歩行距離の測定結果や、生活の質に関するアンケートの結果を使用させていただきます。この研究のために、新たに検査を行うことはありません。使用する情報の詳細については、下記の「研究に用いる情報」で説明いたします。

対象となる患者さん

2018 年 4 月から 2026 年 2 月の間に、長崎大学病院の胃・食道外科で「食道がん」または「食道胃接合部がん」と診断され、食道切除術を行った後、リハビリテーションを行った方

研究に用いる情報

●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

- 患者さんの基本情報：年齢、性別、身長、体重、併存疾患、臨床病期、手術前の治療
- 6 分間歩行距離
- 生活の質に関するアンケート調査の結果
- 手術に関する情報：手術の方法、時間
- 手術後の合併症に関する情報：合併症の有無、種類、程度

本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

情報の利用開始予定日

本研究は 2026 年 8 月 24 日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。

あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。

ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。

あらかじめご了承ください。

研究実施期間

研究機関長の許可日～2028 年 3 月 31 日

研究実施体制

研究代表者	所属：長崎大学病院 リハビリテーション部 氏名：神津 玲 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1 電話：095（819）7963
共同研究機関／研究責任者	田上病院 リハビリテーション科／森下 辰也
長崎大学病院における 情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長

問い合わせ先

【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】

長崎大学病院 リハビリテーション部 神津玲

〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号

電話：095（819）7963 FAX 095（819）7963

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200

受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）